

# 長岡市空家等実態調査業務委託及び空家等台帳管理システム構築業務委託 簡易評価型プロポーザル提案書評価要領

## 1 目的

この要領は、簡易評価型プロポーザル方式により、委託事業者を決定する場合における提案書の評価方法について、必要な事項を定めることを目的とする。

## 2 事業者の選考

- (1) 企画提案書及びプレゼンテーションの評価及び事業者の選考は、本市の職員で組織する選考委員会を設置して行う。
- (2) 選考委員会の委員は別に定め、都市政策課が庶務を行う。
- (3) 選考委員会は、企画提案書の提出者かつプレゼンテーションの参加者の中から、最も優秀と認められる事業者1社を選考する。

## 3 選考方法

- (1) 提案内容が要件を満たしていない場合は失格とする。
- (2) 提案見積額が提案上限額を超えている場合は失格とする。
- (3) 企画提案書の記述項目及びプレゼンテーションの内容に関して、選考評価基準を基に各委員が採点する。
- (4) 各委員の評価点を平均して算出したもの（小数以下を四捨五入）を参加者の評価点とし、評価点の最も高い事業者を最優秀者として決定する。
- (5) 評価点が同点となった場合は、各委員による選考投票で過半数を占めた参加者を最優秀者として決定する。1回目の投票で過半数を占めた参加者がいない場合は、最多得票数の参加者と次点の参加者で決選投票を行い決定する。
- (5) 提出された提案書が1件であった場合、プレゼンテーション及びヒアリング後に選考委員会において審査・評価・協議し、適切と認めるときは、優秀な提案者として選考する。

#### 4 選考評価基準

選考評価基準は以下のとおりとする。

項目	評価内容	配点
<b>1 基本事項</b>		
業務実績等	・本業務の内容と同種または同等の受託実績があるか	10
理解・意欲等	・業務の内容や目的を理解しているか ・提案内容は具体的かつ実現性のあるものか ・業務に対して意欲や積極性はあるか	10
業務実施体制	・業務を遂行するための実施体制、連絡体制は適切か ・従事者は十分な専門知識、資格を有しているか ・適切なセキュリティや障害対策が示されているか ・適切で実現性のある業務スケジュールとなっているか	20
<b>2 空家等実態調査</b>		
実施方法等	・調査の実施方法及びスケジュールは適切か ・調査項目は空家等の状態が判別できる項目か ・調査体制及び1日の作業量は適切か ・調査実施にあたり、創意工夫が考えられているか（効率的な調査や作業、外観調査時の苦情を受けない対応策等）	40
見積価格	・最低見積価格の提案者を満点とし、その他の者は下記の計算結果に応じた得点（小数点以下四捨五入）とする 「配点×（最低見積価格／提案者見積価格）」	20
<b>3 空家等台帳管理システム構築</b>		
システム要件	・仕様書に記載した機能要件が満たされているか ・仕様書に記載されている内容以外に、本市の空家等対策業務で利用するために有益な独自機能や追加提案があるか	20
運用・保守	・システム利用にあたり必要な研修があるか ・ヘルプデスクやサポート体制が具体的になっているか ・適切な保守管理が提供される体制となっているか	10
操作性等	・適切な入力コントロールの選択や配置、画面表示、地図表示、印刷等、直感的に操作できるようなユーザビリティの高いインターフェースとなっているか ・画像や文書ファイルの保存機能は十分な機能を備えており、履歴の管理がしやすいものとなっているか ・データの検索、抽出、出力、集計機能が充実しており、使いやすいものとなっているか ・法改正や業務の見直しに応じて、項目の追加が可能であるなど柔軟なシステムになっているか	30
見積価格	・「2 空家等実態調査」と同一の評価方法	20
<b>合計</b>		<b>180</b>